

ハドロサウルス(ハドロコウモリ)丈夫な、サウルス(トカゲ)のなかまは、カモのくちばしに似た口先の特徴から「カモノハシ竜」と呼ばれています。このカモノハシ竜は白亜紀後期に繁栄した植物食恐竜で、全長が15以上に達するものもいました。

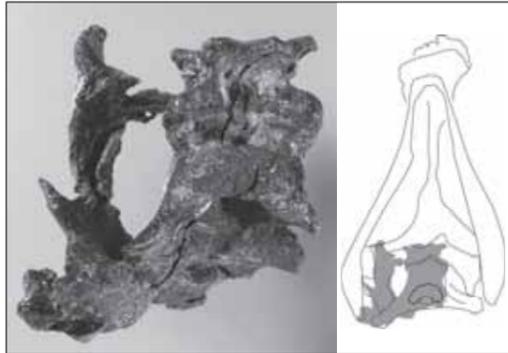
カモノハシ竜は、世界中で繁栄していた恐竜で、アジア、ヨーロッパ、南米、北米、北極圏のアラスカ、そして南極でも化石が見つかっています。カモノハシ竜には、鼻の上の部分に中空のとさかがあるユニークな姿をしたランベオサウルスのなかまなど多くの種類が知られています。

2004(平成16)年2月、御船町田代の山中で、富田優司さん(益城町)によって後頭部の化石が発見

恐竜時代への旅

第4話

ハドロサウルスのなかま



DATA
御船町で発見されたカモノハシ竜の後頭部の化石を下から見たところ(網掛け部分)。大きさは約10センチ。

されました。この場所では、このほかに脊椎骨や四肢骨の化石も見つかっています。ほかの恐竜の骨と混在していない恐竜博物館所蔵のコリトサウルス(北米のランベオサウルスのなかま)の全身骨格(全長約5メートルと比較してみると、全長約4メートルと推定されます)。

カモノハシ竜の化石は、白亜紀後期後半(約8000万年前)の地層から多く発見されていますが、白亜紀後期前半(約9000万年前)の地層からはほとんど見つかりません。御船の化石は、世界的にも発見例が少ない時代のものなので、カモノハシ竜の進化の空白を埋める化石として注目されています。

(文・写真/恐竜博物館・池上直樹)

子育て日記



長男・春道くん (4歳)
長女・美月ちゃん (2歳)
次男・道生くん (1歳)

3人兄妹`楽しさ3倍、

わが家は保育園年少の長男を筆頭に長女、次男の3兄妹です。3人年子ということもあり、毎日慌ただしい日々を過ごしています。

目下の悩みは一人一人の相手をじっくりとてあげられないこと!! 3人3様の要求を同時にされることも多く、まだまだ3人共に甘えたい盛りなのに...そんな時はふだんから一番我慢をさせてしまっている長男を優先するようにしています。

しかし、年子ならではの良い面もたくさんあり、日々の成長の中で「年子でよかったな~」と感じることが増えてきました。年が近いと頻繁に起こってしまう兄妹げんかもお互いを認め合い、助け合って欲しいという願いから、できるだけ見守るようにしています。そして子育ての応援をしてくれるおじいちゃん、おばあちゃん、いつもありがとう。とても助かっています。

(文・写真/江藤美佐お母さん・滝川)

学校自慢

滝尾小学校

外国語活動と3つの「あ」運動をがんばっています!



担任とALTのニック先生と一緒に外国語活動を楽しむ5年生

本校は、平成21・22年度の2年間、文部科学省の外国語活動(英語)の研究指定を受けました。

そこで、「お互いを大切にしながら、積極的にコミュニケーションを図ろうとする子ども」の育成をテーマに、子どもたちが生き生きと楽しく活動できる英語活動の授業づくりなどの研究・実践に取り組んでいます。

授業では、楽しい英語の歌やゲームで英語に慣れ親しみながら、英語で伝え合う楽しさを味わっています。



校門の前で、元気にあいさつ運動をする児童会役員

また、本校では、「3つのあ(あんぜん、あいさつ、あとしまつ)」運動に取り組んでいます。

子どもたちも「3つのあ」を合い言葉に心を一つにしてがんばっています。そのがんばりは、「おはようございます」の毎朝の元気なあいさつや、トイレのスリッパの並べ方に表れてきました。この「3つのあ」を学校の宝にして、もっともっとすばらしい学校にしていきたいと考えています。

(文・写真/滝尾小学校)

BOOK 今月の本

植物図鑑

有川 浩 著

知っているのは彼の名前だけ。でも、それで充分だった。花を咲かせるように、この恋を育てよう。この夏、最高のベストセラー恋愛小説!!



ドラゴン・ティアーズ

石田 衣良 著

茨城の奴隷工場から中国人少女が脱走した。250人の研修生の強制送還まで、タイムリミットは一週間。捜索を頼まれたマコトは、チャイナタウンの裏組織「東龍」に近づく。



新刊書情報

8月は81冊の本が入りました

- 児童書 (24冊)
 - 絵本/まねしんぼう (みやにしたつや 著)
 - 絵本/ひとりたりない (今村 葦子 著)
 - 絵本/デモナータ 9幕暗黒のよび声 (ダレン・シャン 著)
- 一般書 (57冊)
 - 小説/危機突破の経済学 (ポール・クルーグマン 著)
 - 小説/学問 (山田 詠美 著)
 - 小説/フォールト・ライン (バリー・アイズラー 著)

12歳の空

三船 恭太郎 著

六年生のケースとハヤ。卒業までの忘れられない思い出の日々。「12歳の文学」大賞作品。12歳とは思えない文章力と構成力で深い感動を与えてくれます。



(御船小おはなしの会・ばる〜ん おすすめの本)